



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 宇秀

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 桐山 知之 TEL 03-3278-3892

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	23,042	15.1	1,668	△15.0	1,758	△4.2	1,548	3.1
2018年3月期第3四半期	20,012	17.9	1,962	79.1	1,835	102.7	1,501	△1.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,492百万円 (△7.9%) 2018年3月期第3四半期 1,621百万円 (△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	195.35	-
2018年3月期第3四半期	189.44	-

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	36,331	14,176	38.9
2018年3月期	36,280	13,007	35.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 14,130百万円 2018年3月期 12,962百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	-	-	40.00	40.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	16.7	2,800	△1.5	2,800	3.0	2,300	2.2	290.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	7,944,203株	2018年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	18,131株	2018年3月期	17,675株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	7,926,252株	2018年3月期3Q	7,928,007株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更について)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示を和暦から西暦に変更しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策効果から総じて回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の問題や中国経済の減速を背景とした輸出の鈍化傾向など、先行きの不透明感が強くなっておりま

す。  
このような環境のなかで、当社グループは2018年度を初年度とする3ヵ年の新中期経営計画を策定し、「事業基盤の更なる安定と強化」を目指すことを基本方針として、収益力の向上、持続的成長に向けた新規事業の育成、財務体質の更なる強化に努め、業績の向上と収益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高230億42百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益16億68百万円(前年同期比15.0%減)、経常利益17億58百万円(前年同期比4.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億48百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

## ①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、一般品及び二次塩類等については、ほぼ横這いで推移しております。電子工業向け高純度品は、半導体向けの拡大と、増産効果の寄与もあり大幅な増収となりました。一方で、減価償却費等のコスト増がありました。

凝集剤関連製品につきましては、水処理向けは、天候不順による出荷数量増に加え、単価の回復基調が進んだことから増収となり、エッチング用途向けは、関連業界の需要が好調に推移したことから大幅に増収となりました。

コンデンサー向け原料は、需要の拡大を背景に大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、167億97百万円(前年同期比17.7%増)、セグメント利益は、14億19百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

## ②機械事業

破砕関連機械につきましては、本体販売、部品販売ともに大幅な減収となりました。プラント販売は、除染関連や、砕石関連の販売で増収となりましたが、コストの増加により損益面では、低調な結果となりました。鋳鋼品の販売は、ほぼ横這いの結果となりました。

下水道関連の掘進機の本体販売は、アジア向け輸出が堅調に推移し増収となりましたが、レンタル物件は、大幅な減収が続いております。

精密機械加工は、産業用装置向けが好調に推移しており、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、39億3百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益は、1億26百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

## ③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、ガリウム、インジウムともに、販売単価の回復と、顧客需要の増加により増収となりました。赤燐は、輸出が好調に推移したことから大幅な増収となり、酸化ホウ素も引き続き堅調に推移しております。タッチパネル等に用いられる塗布剤も、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、14億50百万円(前年同期比17.0%増)、セグメント利益は、2億65百万円(前年同期比71.0%増)となりました。

## ④その他

石油精製用触媒の再生事業は、減収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億91百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント利益は、5億34百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて17億17百万円減少し、158億42百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金が24億58百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が5億28百万円増加、たな卸資産が3億10百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて17億68百万円増加し、204億89百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が25億73百万円増加した一方、借地権が9億5百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて11億18百万円減少し、221億55百万円となりました。この主な増減理由としては、支払手形及び買掛金が3億88百万円減少、流動負債その他（主に設備未払金）が3億1百万円減少、未払法人税等が2億80百万円減少、賞与引当金が1億60百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を15億48百万円計上した一方、剰余金の配当により3億17百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて11億68百万円増加し141億76百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は363億31百万円となり、自己資本比率は38.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきまして、化成品事業においては、足元の状況から半導体向け高純度磷酸を中心に、収益は底堅く推移するものと予想しておりますが、半導体市況減速の影響に不透明な要素があります。また、機械事業においては、第4四半期に売上が集中する見込みですが、売上の翌期ずれ込みや工事コストの増加といった不透明要素があります。電子材料事業においては、収益は予想通りに推移するものと見込まれます。

第3四半期累計期間の進捗状況は全体では概ね予想通りとなっており、これらの見通しを踏まえた結果、2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月14日公表の予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,188	2,729
受取手形及び売掛金	8,248	8,776
商品及び製品	1,550	1,640
仕掛品	1,111	1,061
原材料及び貯蔵品	930	1,201
その他	530	431
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,559	15,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,542	4,503
機械装置及び運搬具(純額)	3,794	4,958
工具、器具及び備品(純額)	452	478
土地	5,036	6,982
リース資産(純額)	25	29
建設仮勘定	731	203
有形固定資産合計	14,583	17,156
無形固定資産	947	37
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567	1,704
その他	1,634	1,603
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,189	3,295
固定資産合計	18,720	20,489
資産合計	36,280	36,331

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,240	3,851
短期借入金	5,410	7,348
未払法人税等	381	101
賞与引当金	340	180
その他	2,618	2,316
流動負債合計	12,992	13,798
固定負債		
長期借入金	6,813	5,014
退職給付に係る負債	2,936	2,964
損害賠償引当金	155	40
環境対策引当金	22	19
その他	354	318
固定負債合計	10,281	8,356
負債合計	23,273	22,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
資本剰余金	0	0
利益剰余金	4,640	5,872
自己株式	△41	△42
株主資本合計	13,042	14,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	42
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	160	116
退職給付に係る調整累計額	△323	△301
その他の包括利益累計額合計	△80	△142
非支配株主持分	44	45
純資産合計	13,007	14,176
負債純資産合計	36,280	36,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	20,012	23,042
売上原価	14,931	18,096
売上総利益	5,080	4,946
販売費及び一般管理費	3,117	3,277
営業利益	1,962	1,668
営業外収益		
受取配当金	24	34
受取地代家賃	31	26
持分法による投資利益	75	214
その他	39	114
営業外収益合計	171	389
営業外費用		
支払利息	133	144
休止鉱山鉱害対策費用	85	69
その他	79	86
営業外費用合計	298	300
経常利益	1,835	1,758
特別利益		
固定資産売却益	4	16
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	9	16
特別損失		
減損損失	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	1,844	1,773
法人税、住民税及び事業税	269	244
法人税等調整額	62	△27
法人税等合計	332	217
四半期純利益	1,512	1,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,501	1,548



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,512	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△43
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	36	△32
退職給付に係る調整額	29	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△11
その他の包括利益合計	108	△63
四半期包括利益	1,621	1,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609	1,485
非支配株主に係る四半期包括利益	11	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,268	3,552	1,239	19,061	951	20,012	—	20,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	0	8	26	35	△35	—
計	14,277	3,552	1,239	19,069	977	20,047	△35	20,012
セグメント利益	1,491	361	155	2,007	606	2,614	△651	1,962

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△651百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△655百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,797	3,903	1,450	22,151	891	23,042	—	23,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	0	12	26	38	△38	—
計	16,809	3,903	1,450	22,163	917	23,081	△38	23,042
セグメント利益	1,419	126	265	1,811	534	2,346	△678	1,668

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△678百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△679百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。